

## 第3章 基本理念と施策目標

3.1 桑名市水道の基本理念

3.2 桑名市水道の施策目標

3.3 計画の基本事項



星見ヶ丘配水場 平成5年（1993）竣工

（PC配水池：有効容量 1,930m<sup>3</sup>）

### 3.1 桑名市水道の基本理念

本市の上水道事業は、明治37年（1904）に私設諸戸水道が創設されて以来、本年、平成26年（2014）で110年の長きにわたります。すでに普及率もほぼ100%になりました。

平成21年には1市2町の上水道事業がひとつになりましたが、給水区域の統合までには至っていません。桑名市新水道ビジョンでは、3地区水道の一元化を目指すとともに、今後さらに50年間、100年間にわたる水道経営の健全化を維持しつつ清浄で安全な水を安定して供給していくことを目標とするものです。

桑名市新水道ビジョン策定に当たっては、私たちにとって望ましい水道として、時代や環境の変化に的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでもどこでも、誰でも、合理的な対価をもって受け取ることが可能な水道の実現を目指します。

平成18年3月に策定した前回計画の基本理念を受け継ぎ、「市民の生活基盤を支える水道水源の恩恵を次世代の子供たちに享受できるよう、環境の保全に努め、災害に強く、次世代に受け継がれる水道の構築」を基本に、新時代に向けて取り組むものです。

#### 《桑名市上水道事業の基本理念》

『く』 らしを支える水を

『わ』 たたちが守り・育み

『な』 がく受け継がれる水道の構築を目指す

また、図-3.1 に示す厚生労働省が掲げる水道の理想像を、私たちの「桑名市新水道ビジョン」でも共有して取り組んでいきます。

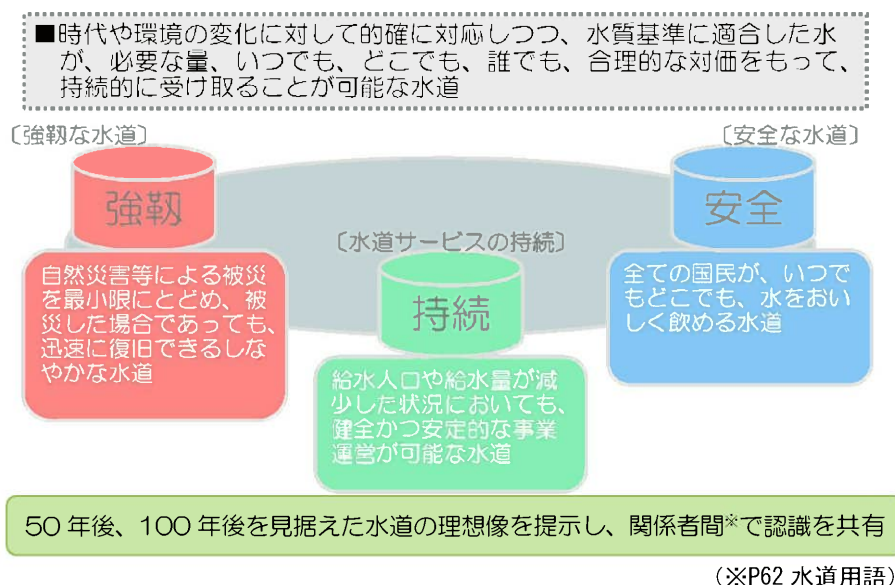


図-3.1 厚生労働省が掲げる水道の理想像

## 3.2 桑名市水道の施策目標

水道水の安全の確保を「安全」、確実な給水の確保を「強靱」、供給体制の持続性の確保を「持続」とし、これらの観点から本市の施策目標を示し、これらに関係者間<sup>※</sup>で共有することとします。施策目標は前回計画を継承しますが、その具体的施策は現在の社会状況にあったものへと改善を図っていくこととします。

(※P62 水道用語)

### 3.2.1 安全な水道

#### 施策目標1：安全でおいしい水

次世代に安全でおいしい水を供給できる施策を展開します。

- ・水道の一元化による安全、清浄な給水
- ・施設の再構築による安定供給
- ・一括集中監視による水質の監視強化

#### 施策目標2：人・街・環境にやさしい水道

環境への貢献、景観への配慮、信頼の水道を持続する施策を展開します。

- ・直結給水<sup>※</sup>地区の拡大（※P62 水道用語）
- ・次世代へつなぐ、水源環境保全の推進
- ・省エネルギーを目指す施設整備

### 3.2.2 強靱な水道

#### 施策目標3：災害に強い水道

地震、風水害等の災害時においても給水を継続できる施設整備を展開します。

- ・水道施設及び管路の計画的な耐震化、災害対策推進
- ・災害時における速やかな応急給水、応急復旧

#### 施策目標4：くらしを支える水道

市民の生活を支える水道施設の健全性を維持する施策を展開します。

- ・生活に必要な水量、水圧、水質及び水道施設の健全性維持
- ・災害時に住民との連携が行えるよう、連携意識の啓発

3.2.3 水道サービスの持続

施策目標5：経営基盤の健全化

水需要の減少と料金収入が低迷する中、老朽施設の更新、災害対策などを健全経営のもとに推進する施策を展開します。

- ・経費等の削減と収入の確保
- ・業務の改善と効率化の推進による経営改善

施策目標6：お客さまが求める水道サービスの提供

地域とともに信頼を築き未来へつなぐための施策を展開します。

- ・料金収納、窓口の充実によるサービス向上
- ・広報活動に努め、水道サービスの浸透

施策目標7：技術の継承と資質の向上

団塊の世代からの技術継承、新技術の導入を図る施策を展開します。

- ・熟練技術をシステム化し、次世代への技術継承
- ・水道関連団体等と連携し、技術・経営手法の向上

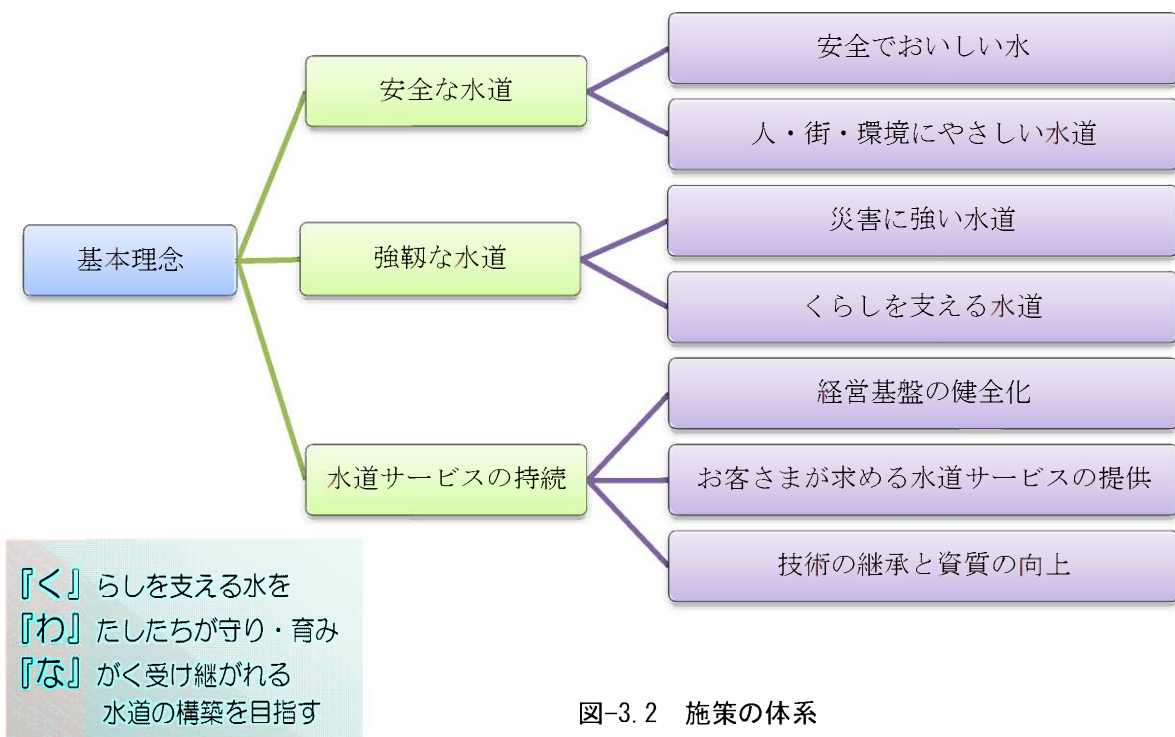


図-3.2 施策の体系

3.3 計画の基本事項

3.3.1 計画期間

計画期間は、今世紀半ばの30年先を見通しつつ、今後10年程度の間 of 具体的施策の事業化を行うこととします。計画開始を平成26年度とし、始めの6箇年を短期計画、その後の5箇年を中期計画とし、目標年度を平成36年度とします。さらにその後の20年間を長期計画とし、目標年度を平成56年度とします。

11年間の中期計画までを実施計画、その後の20年間である長期計画を構想に位置付けます。中期計画を具体的事業実施の目標に、長期計画の構想を本市上水道事業の理想像として関係者間で共有することとします。

表-3.1 計画期間と目標

計画区分	単独期間	累計期間	目標年度	備考
計画開始	-	-	平成26年度 (2014)	
短期計画	6箇年	6箇年	平成31年度 (2019)	通過目標
中期計画	5箇年	11箇年	平成36年度 (2024)	基本計画目標
長期計画	20箇年	31箇年	平成56年度 (2044)	将来構想

3.3.2 中期計画の基本事項

1) 計画給水区域

現状と同じく、桑名市全域とします。

2) 計画給水人口及び計画給水量

前記、「2.1.2 水需要の見込み」に基づき、下記のように定め、これに基づき水道施設の規模決定を行うこととします。

計画給水人口 .....	138,000	人
計画一日最大給水量 .....	60,730	m <sup>3</sup> /日
基準一日最大給水量 .....	64,600	m <sup>3</sup> /日

### 第3章 基本理念と施策目標

#### 3.3.3 長期計画の見通し

前記、「2.1.2 水需要の見込み」に示した、社人研の長期予測では、平成47年の人口は、126,850人と予測されています。これは平成22年の140,290人と比べ、25年間で13,440人、9.6%減となっています。この減少状況から、長期計画目標である平成56年度には、本市の人口は現在の人口より、さらに減少する可能性があると考えられます。

人口減少に伴う需要水量の減少となれば、水道の整備は量的整備から質的整備の傾向が今以上に強まってくることが予想されます。

表-3.2 桑名市上水道事業の計画目標

計画年次	平成年度	西暦FY	厚生労働省	桑名市総合計画	桑名市上水道事業			社人研
					計画期間	給水人口(人)	一日最大給水量(m <sup>3</sup> /日)	桑名市人口(人)
31	56	2044			長期目標			
30	55	2043						
29	54	2042						
28	53	2041						
27	52	2040						122,305
26	51	2039						
25	50	2038						
24	49	2037						
23	48	2036						
22	47	2035						126,850
21	46	2034						
20	45	2033						
19	44	2032						
18	43	2031						
17	42	2030						131,038
16	41	2029						
15	40	2028						
14	39	2027						
13	38	2026						
12	37	2025						134,702
11	36	2024		目標年度	中期目標	139,000	60,730	
10	35	2023				138,444	61,095	
9	34	2022				138,950	61,544	
8	33	2021				139,457	61,935	
7	32	2020				139,963	62,332	137,674
6	31	2019			短期目標	140,253	62,714	
5	30	2018				140,543	63,045	
4	29	2017				140,818	63,371	
3	28	2016				141,108	63,709	
2	27	2015				141,398	64,108	139,561
1	26	2014		総合計画策定	基本計画改訂	141,403	64,355	
-	25	2013	新水道ビジョン策定		(新水道ビジョン)	141,395	64,601	
-	24	2012		後期計画策定		142,321	63,674	
-	23	2011		前期計画目標		(実績)	(実績)	
-	22	2010						140,290
-	21	2009						
-	20	2008	水道ビジョン改訂					
-	19	2007		基本計画策定				
-	18	2006			基本計画策定			
-	17	2005			(水道ビジョン)			138,963
-	16	2004	水道ビジョン策定	1市2町合併				(国勢人口)